

氏名	長谷川 頼彦		
学位の種類	医学博士		
学位授与番号	乙 第 1132 号		
学位授与の日付	昭和 55 年 9 月 30 日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 5 条第 2 項該当)		
学位論文題目	人工膝関節の固定法に関する研究		
論文審査委員	教授 寺本 滋	教授 折田 薫三	教授 大内 弘

学位論文内容の要旨

人工膝関節の固定法を検討するために、屍体脛骨を用いての圧縮試験、岡山大型 Mark II 人工膝関節の臨床成績、術後剖検例より総合的な研究を行なった。

屍体脛骨に脛骨部品を固定しての圧縮試験では、岡山大型 Mark II が最も強くつづいて ICLH 型、Geometric 型、Polycentric 型の順であった。脛骨上端で海綿骨にのみ固定される脛骨部品は小さい荷重によって海綿骨に微小骨折をおこし、脛骨内に陥入することが分った。このことが脛骨部品のゆるみの原因の一つであると考えられる。

術後臨床成績の比較でも、岡山大型 Mark II は、Polycentric 型、Geometric 型、ICLH 型に比べて脛骨部品のゆるみが極端に少ない。

岡山大型の術後剖検例では、人工関節のゆるみは全くなく、穿孔試験によって脛骨部品の下に支持性の再構築が証明された。

論文審査の結果の要旨

本研究は人工膝関節の術後成績を左右する重要な要因としての、人工関節固定法について実験的、臨床的に研究したものであるが、岡大型 Mark II 人工膝関節の優秀性とともその固定法に関して重要な知見を得たものであり価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。